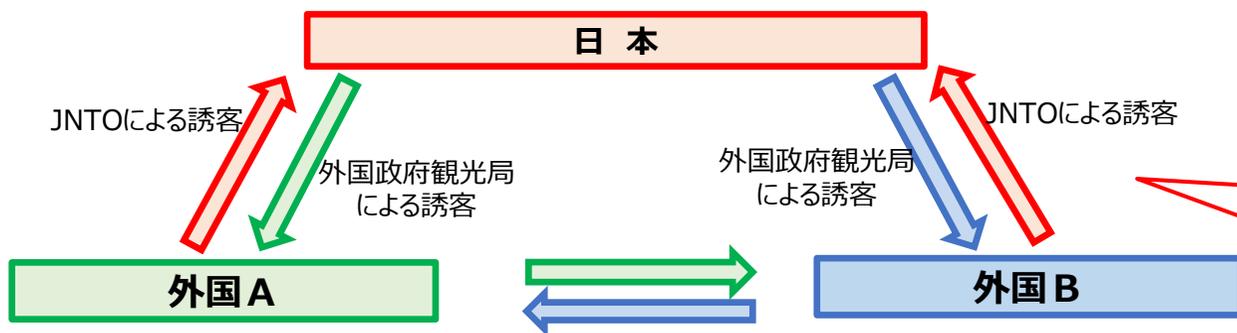


前回分科会におけるご指摘事項への対応等

相互交流の促進（JNTOの機能の活用）

- 世界の旅行市場が拡大し、各国間の競争が激しくなる中で、様々な国・地域からの日本への誘客を進め、**インバウンド市場の多様化を図るに際しては、日本からのアウトバウンドも同時に拡大させることが肝要。**
- このためには、**政府間（観光当局間）での結びつきの構築・強化を進める枠組み（多国間・二国間）の拡大が重要。**その中で、**JNTO（日本政府観光局）においても、各国の政府観光局との連携を強化し、相互のアウトバウンドの拡大に資することが可能であり、こうした取組を充実・強化。**

多国間の相互交流促進（イメージ）



JNTOを含む各国の政府観光局が連携し、相互にインバウンド誘客の取組を強化することにより、相互のアウトバウンドを拡大。

具体的取組

観光に関する協議

● 多国間の会議

日中韓観光大臣会合、ASEAN+3などの多国間会議に、観光庁・JNTOが参加し、他国の観光当局・政府観光局との連携を深化。



ASEAN+3 (2026年1月)

● 二国間の会議

韓国、インド、ベトナム、スペイン、豪州など7カ国と定期的に双方の国々で会議を開催し、JNTOや外国政府観光局も参加。



豪州との観光協議 (2026年2月)

▶ 今後は、こうした外国との連携の枠組みへの参加件数・開催件数を更に増加させるべく取組を推進。

協力文書の締結

● 観光当局等間の協力文書締結

これまでに20カ国以上と観光分野における協力文書を締結（JNTO・外国政府観光局も加わるものも存在）。今後これを更に拡大。



スペイン観光当局との覚書締結 (2022年9月)

● 政府観光局間の協力文書締結

JNTOと外国政府観光局間での協力文書を締結。

▶ 今後は、こうした外国当局との協力文書の締結を、観光庁・JNTOともに更に増加させるべく取組を推進。

相互交流キャンペーン等の実施

● 相互交流キャンペーン

2024年には「日米観光交流年」として、観光庁・JNTOは、米国政府・政府観光局等と連携し、日米で大規模な相互交流キャンペーンを実施。



米国での日米観光交流イベント (2024年9月)

● 相互交流イベント

JATA（日本旅行業協会）とJNTOが毎年開催する大規模旅行博であるツーリズムEXPOジャパンやVJTMに、各国の政府観光局が参加。



日本でのVJTM (2025年9月)

▶ 今後は、こうした相互交流キャンペーン等を外国政府・観光局との連携により更に内容を充実して開催。